

次年度の取り組み強化ポイントについて意見交換しました！

開催内容

※第1層：大崎市全域 第2層：地域自治組織単位

事務局より、「健康～虚弱状態(フレイル)」の高齢者を対象に実施した生活動作アンケート(日常生活における困りごと調査)について結果を報告し、次年度の取り組み強化ポイントについてグループに分かれて話し合いを実施した。

調査結果概要

- ・調査人数443人のうち179人(約40%)が困りごと有と回答。
- ・困りごと342件のうち174件(約51%)が家の外のこと(草取り・雪かき・買い物など)での困りごとであった。自立した生活を継続するには家の外のことの支援が必要となる。
- ・地域別や家族構成別に分析し、家の中の困りごとは家の状況や家族構成に影響され、家の外のごとは市全体で考慮すべきものと地域性を考慮すべきものが見えてきた。



Zoomオンライン開催

出された主な意見

- ・生活動作アンケートにより、困りごとの見える化が図られて良かった。結果を地域と共有し、支え合いに参加できる資源整理とマッチングを行うことが課題となる。
- ・困りごと無しの人でも本当に困っていないのか掘り下げることが必要である。
- ・多職種が参加している第1層協議体が専門職の視点で第2層の支え合いの仕組みの構築に向けて支援していくことが必要である。